別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票（平成24年度分）

法人名	独立行政法人国立文化財機構（東京国立博物館）
案件番号	1
入札及び契約方式	一般競争入札
契約の件名及び数量	東京国立博物館等で使用する電気
契約締結日	平成25年3月22日
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社F-Power
入札経緯及び結果	平成25年1月24日　入札公告
	平成25年3月19日　関係書類提出締切
	平成25年3月22日　入・開札

一者応札・応募の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は極めて単純な業務であり、仕様書の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	電気供給には長い準備期間を要さない。
③公告期間の見直し	○	公告期間を54日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府のイニシアチブを待って検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

－

契約監視委員会のコメント

法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組を続けられたい。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。

（注）1.「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

（注）2.「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

（注）3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票（平成２４年度分）

法人名	独立行政法人国立文化財機構（九州国立博物館）
案件番号	2
入札及び契約方式	一般競争入札
契約の件名及び数量	九州国立博物館で使用する電気
契約締結日	平成25年1月28日
契約の相手方の商号又は名称等	九州電力株式会社　福岡南営業所
入札経緯及び結果	平成24年12月6日　入札公告
	平成25年1月16日　関係書類提出締切
	平成25年1月28日　入・開札

一者応札・応募の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は極めて単純な業務であり、仕様書の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	約2ヶ月間の準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を52日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府のイニシアチブを待って検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

－

契約監視委員会のコメント

法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組を続けられたい。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。

（注）1.「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

（注）2.「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

（注）3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票（平成24年度分）

法人名	独立行政法人国立文化財機構（九州国立博物館）
案件番号	3
入札及び契約方式	一般競争入札
契約の件名及び数量	九州国立博物館　文化財エリアのIPMメンテナンス等業務一式
契約締結日	平成25年3月11日
契約の相手方の商号又は名称等	NPO法人ミュージアムIPMサポートセンター
入札経緯及び結果	平成25年2月18日　入札公告
	平成25年3月4日　関係書類提出締切
	平成25年3月11日　入・開札

一者応札・応募の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	月2回としていた実施回数を月1回に見直し、人員を確保しやすくした。
②業務等準備期間の十分な確保	○	従前の準備期間より約1週間延長し、約2週間から約3週間とした。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府のイニシアチブを待って検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

－

契約監視委員会のコメント

法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組を続けられたい。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。

（注）1.「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

（注）2.「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

（注）3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票（平成24年度分）

法人名	独立行政法人国立文化財機構（九州国立博物館）
案件番号	4
入札及び契約方式	一般競争入札
契約の件名及び数量	九州国立博物館　博物館科学課研究機器設備定期点検・保守一式
契約締結日	平成25年3月11日
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンインステック九州支店
入札経緯及び結果	平成25年2月18日　入札公告
	平成25年3月4日　関係書類提出締切
	平成25年3月11日　入・開札

一者応札・応募の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は当館博物館科学課の業務に必要不可欠な機器の保守であり、仕様書の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	従前の準備期間より約1週間延長し、約2週間から約3週間とした。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府のイニシアチブを待って検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

－

契約監視委員会のコメント

法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組を続けられたい。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。

（注）1.「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

（注）2.「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

（注）3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票（平成２４年度分）

法人名	独立行政法人国立文化財機構（九州国立博物館）
案件番号	5
入札及び契約方式	一般競争入札
契約の件名及び数量	九州国立博物館　書籍預かり業務　一式
契約締結日	平成25年3月13日
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社文化財情報研究所
入札経緯及び結果	平成25年2月25日　入札公告
	平成25年3月8日　関係書類提出締切
	平成25年3月13日　入・開札

一者応札・応募の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	仕様書の内容は、保管場所の条件等であり、見直すことで書籍の保存環境が悪化する恐れがあり難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	×	約2週間としていた。
③公告期間の見直し	×	仕様の見直しを早める等、公告期間の確保に努める。（15日間）
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府のイニシアチブを待って検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書の交付は受けたが、入札には参加しなかった業者に理由等をヒアリングした（「現在の保管場所からの移動コストが割高になるため」とのこと）。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

－

契約監視委員会のコメント

法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組を続けられたい。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。

（注）1.「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

（注）2.「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

（注）3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票（平成24年度分）

法人名	独立行政法人国立文化財機構（九州国立博物館）
案件番号	6
入札及び契約方式	一般競争入札
契約の件名及び数量	九州国立博物館収蔵品デジタルアーカイブ公開用システム賃貸借及び保守　一式
契約締結日	平成25年3月19日
契約の相手方の商号又は名称等	熊本ソフトウェア株式会社
入札経緯及び結果	平成25年3月6日　入札公告
	平成25年3月15日　関係書類提出締切
	平成25年3月19日　入・開札

一者応札・応募の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は既存システムの賃貸借及び保守業務であり仕様書の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	×	約2週間としていた。
③公告期間の見直し	×	公告期間の確保に努める。（15日間）
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府のイニシアチブを待って検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

－

契約監視委員会のコメント

法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組を続けられたい。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。

（注）1.「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

（注）2.「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

（注）3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票（平成２４年度分）

法人名	独立行政法人国立文化財機構（九州国立博物館）
案件番号	7
入札及び契約方式	一般競争入札
契約の件名及び数量	九州国立博物館建物保守業務　一式
契約締結日	平成25年3月19日
契約の相手方の商号又は名称等	鹿島建物総合管理株式会社
入札経緯及び結果	平成25年2月20日　入札公告
	平成25年3月18日　関係書類提出締切
	平成25年3月19日　入・開札

一者応札・応募の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	参加資格について、建物設備管理実績を延床面積20,000㎡以上から10,000㎡以上に、ｱﾝﾓﾆｱﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ設備の運転管理実績を2年以上から1年以上に緩和した。
②業務等準備期間の十分な確保	×	約2週間としていた。
③公告期間の見直し	○	公告期間を26日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府のイニシアチブを待って検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

－

契約監視委員会のコメント

法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組を続けられたい。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。

（注）1.「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

（注）2.「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

（注）3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票（平成24年度分）

法人名	独立行政法人国立文化財機構（東京国立博物館）
案件番号	8
入札及び契約方式	事前公募型随意契約
契約の件名及び数量	「MUSEUM　東京国立博物館研究誌」印刷請負業務
契約締結日	平成25年3月1日
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社中央公論事業出版
入札経緯及び結果	平成24年11月22日　公募公告
	平成24年12月13日　関係書類提出締切
	平成25年3月1日　随意契約

一者応札・応募の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本業務における成果物は書店等を通じて販売しているものであり、大幅な仕様変更は難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	前年度より4ヶ月早く公告した。また、20日間の準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を21日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府のイニシアチブを待って検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	契約相手方以外に参加表明をした業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

－

契約監視委員会のコメント

法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組を続けられたい。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。

（注）1.「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

（注）2.「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

（注）3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票（平成２４年度分）

法人名	独立行政法人国立文化財機構（奈良国立博物館）
案件番号	9
入札及び契約方式	事前公募型随意契約
契約の件名及び数量	奈良国立博物館ネットワークシステム保守等
契約締結日	平成25年3月1日
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社日立ソリューションズ関西支社
入札経緯及び結果	平成25年1月15日　公募公告
	平成25年2月5日　関係書類提出締切
	平成25年3月1日　随意契約

一者応札・応募の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	今後は見直しを検討する。
②業務等準備期間の十分な確保	○	従前の準備期間より約3週間延長し、1週間から4週間とした。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府のイニシアチブを待って検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	契約相手方以外に参加表明をした業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

－

契約監視委員会のコメント

法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組を続けられたい。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。

（注）1.「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

（注）2.「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

（注）3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票（平成24年度分）

法人名	独立行政法人国立文化財機構（九州国立博物館）
案件番号	10
入札及び契約方式	事前公募型随意契約
契約の件名及び数量	九州国立博物館収蔵品デジタルアーカイブ公開用システム改修等作業　一式
契約締結日	平成24年12月11日
契約の相手方の商号又は名称等	熊本ソフトウェア株式会社
入札経緯及び結果	平成24年11月19日　公募公告
	平成24年12月10日　関係書類提出締切
	平成24年12月11日　随意契約

一者応札・応募の改善取組内容

改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は既存システムの改修業務であり仕様書の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	×	履行開始日が契約締結日と同日であった。
③公告期間の見直し	○	公告期間を21日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府のイニシアチブを待って検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置

－

契約監視委員会のコメント

法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組を続けられたい。

（法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置）

引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。

（注）1.「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

（注）2.「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

（注）3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。